

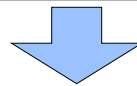
第1回専門家会議を受け、飯田市としての検討の方向性

第2回専門家会議
資料1

基本構想策定後に整理された現在の状況

- 1 全国的に建設費が急激に高騰し、今後の推移が見通せない状況になっている
- 2 駐車場を含めた施設整備には広大な敷地が必要になるが、多くの家屋移転をとまなう用地の確保については難易度が増してきている
- 3 リニア中央新幹線の工期延長に伴い、新文化会館を含めた大規模事業に関する「長期財政見通し」を見直す必要が生じてきた

上記の状況を認識したうえで



飯田市としての検討の方向性

- ・ 創造的なアイデアで基本構想の具現化を追求する
- ・ 「飯田ひろば」としての「集う」機能の実現を追求する
- ・ 機能一体型の整備に加えて、機能を分散し段階的に整備する方法を含めて検討する
- ・ 実質的で利用しやすい施設づくりを追求する